

朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）

平壤観光大学が設立

2014年4月19日付『朝鮮新報』によれば、平壤観光大学が設立され、また、元山、新義州など各道（日本の県にあたる）の師範大学に観光学部が新設され、同年4月1日より開講した。

ロシア副首相兼極東連邦管区大統領全権代表一行が訪朝

2014年4月28～30日付『朝鮮中央通信』によれば、ロシアのユーリー・トルトネフ副首相兼極東連邦管区大統領全権代表が同月28～30日に訪朝した。

同一行は、28日に盧斗哲副首相と会談した。同会談には、朝鮮側から李龍男貿易相、弓錫雄外務次官、任天一ロシア・ナホトカ駐在朝鮮総領事ほか関係者が、ロシア側から大統領全権代表一行とアレクサンドル・ティモニン駐朝ロシア大使、大使館員が参加した。同日、朝鮮貿易省とロシア・アムール州政府間の貿易経済協力に関する合意書が調印された。

同年4月28日付『ロシアの声』ホームページによれば、ロシアは北朝鮮に対して、50台の消防車を寄贈した。

平壤で鉄道国際協力機構一般理事会開催－韓国鉄道代表も参加

2014年4月27日付『朝鮮中央通信』によれば、同月24日～27日、平壤で鉄道国際協力機構（OSJD/OSShD）の一般理事会が開催され、加盟国の鉄道企業の代表が参加した。同年4月21日付韓国の『中央日報』によれば、韓国鉄道公社の崔然恵社長を団長とする韓国の代表団も同会議にオブザーバー参加した。

ロシアのプーチン大統領、北朝鮮に対する債務90%免除の協定批准案に署名

2014年5月6日付韓国『KBS』ホームページによれば、ロシアのプーチン大統領は同月5日、北朝鮮のロシアに対する債務109億ドルについて、90%を帳消しにするほか、残り10億9000万ドルについては20年間で分割返済するという2012年の協定について、その批准案に署名したということだ。

協定ではさらに、北朝鮮が返済分について、ロシアが北朝鮮に対して保健や教育、エネルギー部門のプロジェクトに投資できるように規定しているということだ。これに関連して、ロシアのセルゲイ・シャタロフ財務次官は、「返済金は北朝鮮を経由しロシアと韓国をつなぐガスパイプラインや鉄道建設にも使用される」との考えを示しているとの

ことだ。

2014年4月19日付『ロイター』通信によれば、これに先立ち、ロシア連邦議会下院が北朝鮮の債務の大半を免除する2012年の協定を批准していた。協定締結の2012年9月17日時点の債務総額は109億6,000万ドルであったとのことだ。

北朝鮮とロシア、二国間の貿易取引にルーブルを使用開始

2014年6月5日付『ロシアの声』ホームページによれば、ロシアと北朝鮮で6月、ルーブルによる決済がスタートする。ロシアのアレクサンドル・ガルシカ極東発展相が同日、政府間委員会の会合を総括して明らかにした。この決定は、同年4月のロシア副首相兼極東連邦管区大統領全権代表との会談で合意されたものと考えられる。

「1月8日水産事業所」が操業

2014年5月9日付『朝鮮新報』によれば、同年4月30日、朝鮮人民軍「1月8日水産事業所」の操業式が行われた。同事業所は、金正恩第1書記が直接建設を指示した施設とのことである。

松涛園国際少年団キャンプ場が竣工

2014年5月9日付『朝鮮新報』によれば、同年5月2日、江原道元山市松涛園国際少年団キャンプ場の改装工事の竣工式と同所に建てられた金日成主席と金正日総書記の銅像の除幕式が2日、金正恩第1書記の参加の下、現地で行われた。朝鮮労働党中央委員会の崔龍海書記が、除幕および竣工の辞を述べた。

朝鮮経済開発協会が主催する経済開発区専門家討論会開催

2014年5月2日付『朝鮮中央通信』によれば、同日、平壤の羊角島国際ホテルで朝鮮経済開発協会が主催する経済開発区専門家討論会が開催された。カナダ・プリティッシュコロンビア大学のパク・キョンエ教授をはじめ、中国、インド、カナダ、フィリピン、米国の特殊経済地帯専門家や各国の外交官、国際機構関係者が参加した。

平壤春季国際商品展開催

2014年5月12日付『朝鮮中央通信』によれば、同年5月12日～15日、平壤の三大革命展示館で平壤春期国際商品展（見本市）が開催された。北朝鮮と中国、ニュージーランド、ドイツ、マレーシア、モンゴル、スイス、シンガポール、オーストラリア、インドネシア、ベトナム、イタリア、タイ、キューバ、ポーランド、台湾の企業から商品が展示された。

（ERINA調査研究部長・主任研究員 三村光弘）